

教科	総合的な探究の時間	科目	知の理論	単位	2	年次	3年次
使用教科書	特定の教材は使わず適宜資料等を準備し使用する						
副教材							

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

2年で取り組んだTOKを振り返り、まとめあげるのが今年のTOKです。引き続き「知識とは何か?」、「知っているということはどういうことか?」など知識そのものを中心とした様々な問いを考えていきます。TOKでは学校で習うすべての科目に共通する概念を扱います。すべての科目の根底にある知識の構造、その分類、歴史的背景を感じ取ってもらうことが最大の目標になります。みなさんをお願いしたいことは、①「難解な問い」に対して急いで答えを出そうとしないこと、②答えの出ない時間、悩む時間をできるだけ長くしてその瞬間を楽しむことです。難解なものに取り組む素養が身についた暁には、今後、みなさんがどのような場面に出会っても多角的な視点をもって乗り越えることができると考えています。

2. 学習の到達目標

知の理論の評価基準に準ずる。プレゼンテーションとエッセイの評価基準はGoogle classroomを通して担当より配信される。評価される主な基準は、
 ・知識に関する問いを抽出できる。
 ・自らの主張に対し、反論を検証できる。
 ・複数の知識の領域(あるいは複数の実社会の状況)を検証し、多角的に論じている。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	b: 思考・判断・表現			
観 点 の 主 旨	特定された実社会の状況を明確に関連させ、入念に形成された「知識に関する問い」を終始取り上げている。説得力のある議論を構築し、その問を実社会の状況に照らして効果的に探求し、様々なものの見方を吟味している。分析した結果が、選択した実社会の状況や他の状況において重要性があることを示している。			
評 価 方 法	国際バカロレア・ディプロマ・プログラム『知の理論』のプレゼンテーションのマークバンドによって一人あたり10分(3人までのグループでの発表可)のプレゼンテーションでのみ評価を行います。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにて評価し、文章にて評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d	e			
4	TOKプレゼンテーション	TK/PPD作成		○				・知識に関する問いを理解し、プレゼンテーションとエッセイにおいて示すことができる。 ・理路整然とした議論を行うことができる。 ・自らの主張に対し、反論を検証することができる。	プレゼンテーション、エッセイ、ディスカッション、TK/PPD	
5		プレゼンテーション		○						
6	TOKエッセイ	エッセイライティング		○						
7		エッセイ提出		○						
8		エッセイ完成		○						
9	振り返り	振り返り		○			・自己を見つめなおし、自らの目標に向けて計画的に取り組むことができる。(自己調整力、自律)			
10	キャリア教育			○						
11		エッセイ、自己PR、ポートフォリオ、面接、プレゼンテーションなど		○						
12				○						
1					○					

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。